

2024年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 1

入学試験問題

(注)  問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙 1 枚に解答すること。

試験科目 英語	受験番号
氏名	

[I] 次の英文を読んで、下記の問いに答えなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

1. 全文を訳しなさい。

2. 「high-choice media environment」とは何か、説明しなさい(3行以内)。

3. この研究の問題意識の背景となるジャーナリズム的な視点は何か、考察しなさい(5行以内)。

2024年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 2

入学試験問題

(注)  問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙 2枚に解答すること。

試験科目

英語

受験番号

氏名

【Ⅱ】 以下は、『毎日新聞』の英語版のウェブサイトにて、2023年8月2日付で掲載された社説（ERITORIAL）の一部です。日本語に全訳しなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

2024年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 1

入学試験問題

(注)  問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙1枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

[I] 次の文章を読み下の問いに答えよ。

※

出典…佐藤卓己「フアシストの公共性とナチ広報」津金澤聡廣／佐藤卓己責任編集『広報・広  
告・プロパガンダ』ミネルヴァ書房、2003年

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

- 1, ローゼヴェルトとヒトラーとレーニンの「宣伝」についての筆者の見解を簡潔に説明しなさい。
- 2, なぜイデオロギーから距離を置いて宣伝を研究することが必要なのか、あなたの考えを述べなさい。

